



平成28年8月31日

北陸地方整備局  
飯豊山系砂防事務所

記者発表資料  
同時発表記者クラブ  
・山形県政記者クラブ

## テックーフォース TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣

北陸地方整備局飯豊山系砂防事務所は、台風10号で発生した災害に対する支援を実施するため、岩手県岩泉町へTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の被災状況調査班（砂防）として1名を派遣します。

今回の派遣は、土砂災害による再度災害防止のための被害状況把握を目的として行うものです。

- ◆ 出発日時・・・9月1日(木) 午前10時40分(予定)
- ◆ 派遣隊員・・・職員1名
- ◆ 派遣期間・・・概ね1週間

お問い合わせ先  
国土交通省 北陸地方整備局 飯豊山系砂防事務所  
副所長(技術) 石田 正樹  
調査課長 吉田 克美  
電話：0238-62-2566 (代表)

## <今回の派遣について>

○9月1日(木) 17:15頃(予定)に岩泉町役場に到着予定としている。

○北陸地方整備局からは3班を派遣する。

- ・先遣班 1班(4名)
- ・被災状況調査班(道路班) 1班(4名)
- ・被災状況調査班(砂防班) 1班(4名)

計12名

※飯豊山系砂防事務所は1名を派遣。湯沢砂防事務所(新潟県南魚沼郡湯沢町)から派遣する3名と合同で1班とし「被災状況調査班(砂防班)」として作業を行う。

## <参考>

平成28年熊本地震へ派遣時の出発式の様子 飯豊山系砂防事務所前  
(平成28年4月22日)



※出発式の実施状況写真は提供可能です。

# TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊) とは

- ・ TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊) とは、被災した地方公共団体等の災害対応を支援する、国土交通省の組織です。
- ・ TEC-FORCEは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、地方自治体からの要請に基づき迅速に出動し、被災状況の迅速な把握、被害の発生・拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援を行うものです。

## ◆TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊) の創設

※ 平成20年5月創設

- 地震、水害・土砂災害等から **国民の生命と財産を守ることは国の基本的責務**です。
- 地球温暖化等による災害リスクの増大に対し、**人員・資機材の派遣体制等の充実**を図り、危機管理体制を強化することを目的としています。

### 従来

- 国による緊急支援は**その都度**体制をとって対応。

### 現行

- あらかじめ職員をTEC-FORCE隊員として任命するなど、**事前に**人員・資機材の派遣体制を整備し、迅速な活動を実施します。

### 活動内容

- 被災状況の迅速な把握
- 社会基盤施設の早期復旧
- 二次災害の防止



## ◆TEC-FORCE の班編制と活動内容

### □リエゾン班

被災直後から、先行的に被災自治体へ派遣し、被災状況や被災自治体の支援ニーズを把握し、整備局等の災害対策本部に伝達するほか、整備局からの情報提供を行う等自治体の早期復旧を支援します。

リエゾン (現地情報連絡員)

※リエゾン (liaison) : フランス語で「組織間の連絡、連携」

### □先遣班

被災状況をいち早く把握するために、ヘリコプターや車両により、先行的に調査し、応援・支援の必要性や規模を把握のうえ、派遣元の地整へ報告します。

### □現地支援班

現地の緊急災害対策各班及び被災地等災害対策本部との連絡調整、災害情報、応急対策活動状況等の情報収集、現地支援センターとしての被災地の支援ニーズの把握等をおこないます。

### □情報通信班

衛星通信車、Ku-SAT II (衛星小型画像伝送装置)、照準車を派遣して、被災状況の映像を配信します。

### □高度技術指導班

河川、砂防、海岸、道路、港湾等の所管施設について、特異な被災事例等に対する技術指導、被災施設等の応急措置及び復旧方針樹立の指導をおこないます。

### □被災状況調査班

(災害対策用ヘリ)

災害対策用ヘリにより、被災状況を把握します。

(現地調査班)

踏査等により、河川、砂防、海岸、道路、港湾等の所管施設の被災状況を調査します。

### □応急対策班

湛水箇所のポンプ排水、二次災害の危険がある箇所の土砂の撤去や応急仮締め切り、応急組立橋や資材を用いた迂回路の設置等をおこないます。